

**博士課程教育リーディングプログラム 平成24年度採択プログラム
中間評価結果一覧**

区分	評価基準	オールラウンド型	複合領域型 (環境)	複合領域型 (生命健康)	複合領域型 (物質)	複合領域型 (情報)	複合領域型 (多文化共生 社会)	複合領域型 (安全安心)	複合領域型 (横断的テーマ)	オンリーワン 型	合計
		件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
S	計画を超えた取組であり、 現行の努力を継続すること によって本事業の目的を 十分に達成することが期 待できる。	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3 (12.5%)
A	計画どおりの取組であり、 現行の努力を継続すること によって本事業の目的を 達成することが期待でき る。	1	1	1	2	2	1	1	1	2	12 (50.0%)
B	一部で計画と同等又はそ れ以上の取組もみられる ものの、計画を下回る取 組であり、本事業の目的 を達成するには、助言等 を考慮し、一層の努力が 必要である。	1	1	0	0	0	2	1	1	2	8 (33.3%)
C	取組に遅れが見られる 等、総じて計画を下回る 取組であり、本事業の目 的を達成するために当初 計画の縮小等の抜本的な 見直しを行い、見直し 後の計画に応じて財政支 援を縮小することが必要 である。	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1 (4.2%)
D	現在までの進捗状況に鑑 み、本事業の目的を達成 できる見通しが無いと思 われるため、当該採択プ ログラムへの財政支援を 中止することが必要であ る。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0%)
	計	2	2	2	3	3	3	2	2	5	24

小数点第二位を四捨五入

※各プログラムの中間評価結果の詳細については、日本学術振興会博士課程教育リーディングプログラム
ホームページ(<http://www.jsps.go.jp/j-hakasekatei/index.html>)を参照

【オールラウンド型】:2件

A:計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関(※1)	連携先機関(※2)
G02	名古屋大学	PhDプロフェッショナル登龍門	杉山 直		

※1 共同教育課程を設置している場合の共同実施機関名

※2 他の大学等と連携した取組の場合の機関名、研究科専攻等名(連携先機関所属のプログラム担当者を含むもの)

B:一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
G01	東京工業大学	グローバルリーダー教育院	佐藤 勲		一橋大学大学院国際企業戦略研究科

【複合領域型(環境)】:2件

A:計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
H02	九州大学	グリーンアジア国際戦略プログラム	谷本 潤		九州電力株式会社、新日鐵住金株式会社、宇部興産株式会社、住友金属鉱山株式会社、ダイキン工業株式会社、福岡県、福岡市、北九州市、マヒドン大学(タイ王国)、マレーシア日本国際工科院(マレーシア)、シンガポール国立大学(シンガポール共和国)、インド工科大学(インド共和国)、バンドン工科大学(インドネシア共和国)、ダッカ大学(バングラデシュ人民共和国)

B:一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
H01	東京農工大学	グリーン・クリーン食料生産を支える実践科学リーディング大学院の創設	千葉 一裕		California Institute of Technology、三菱商事株式会社、三井化学株式会社、国際連合食糧農業機関、Duke大学、株式会社日立製作所、カリフォルニア大学サンタバーバラ校、株式会社三菱総合研究所、University of Rome、株式会社東芝、上智大学、株式会社島津製作所、三菱樹脂株式会社、Aalto University、Cornell University、SRI International、University of California、Davis、Bonn University、Stanford University、University Lisbon、Oviedo University、Oxford University、Wageningen University、Steinbeis University、University of Milan、University of Florence、Ankara University、UAE University、NCTU、ITRI、UNA La Molina、UA CHAPINGO、CIMMYT

【複合領域型(生命健康)】:2件

A:計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
I02	熊本大学	グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO	小椋 光		熊本県、熊本市、第一三共(株)、一般財団法人 化学及び血清療法研究所、同仁化学研究所(株)、熊本日日新聞社、熊本商工会議所、熊本経済同友会、九州地域バイオクラスター推進協議会

C:取組に遅れが見られる等、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するために当初計画の縮小等の抜本的な見直しを行い、見直し後の計画に応じて財政支援を縮小することが必要である。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
I01	京都大学	充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム	福山 秀直		

【複合領域型(物質)】:3件

S:計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
J01	東京大学	統合物質科学リーダー養成プログラム	川崎 雅司		

A:計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
J02	大阪大学	インタラクティブ物質科学・カデットプログラム	木村 剛		国立研究開発法人理化学研究所 放射光科学総合研究センター、国立研究開発法人情報通信研究機構
J03	九州大学	分子システムデバイス国際研究リーダー養成および国際教育研究拠点形成	安達 千波矢		University of California, Los Angeles:UCLA (アメリカ)、スタンフォード大学(アメリカ)、Interuniversity Microelectronics Centre:imec(ベルギー)、Okinawa Institute of Science and Technology:OIST、九州大学カリフォルニアオフィス、財団法人 九州先端科学技術研究所(福岡市)

【複合領域型(情報)】:3件

S:計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
K03	大阪大学	ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム	清水 浩		(国研)理化学研究所、(国研)情報通信研究機構、(株)国際電気通信基礎技術研究所、(株)東芝、日本電気(株)、日本電信電話(株)、パナソニック(株)、(株)日立製作所、Microsoft Research、(公財)日本科学技術振興財団、オムロン(株)、(株)堀場製作所

A:計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
K01	東京大学	ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム	國吉 康夫		日本経済団体連合会、日本情報システム・ユーザー協会、日本規格協会、科学技術政策研究所、統計数理研究所、国際協力機構、ISO、NPO法人EduceTechnologies、東京海上日動火災保険、日本IBM、Google、エーザイ、Microsoft、Infosys、三菱商事、NTTデータ、新日鉄住金ソリューションズ、e-Corporation.JP、ETH、Manchester Univ.、UC Berkeley、Technische Universität München、Université Pierre & Marie Curie、Chulalongkorn University、佐賀県、内閣官房情報通信技術担当室、経済産業省商務情報政策局 情報政策課情報プロジェクト室、総務省総合通信基盤局電波部
K02	京都大学	デザイン学大学院連携プログラム	石田 亨		京都市立芸術大学大学院美術研究科、日本電信電話株式会社、日本電気株式会社、三菱電機株式会社、パナソニック株式会社、EY総合研究所株式会社、デザインイノベーションコンソーシアム(会員に企業44社を含む)

【複合領域型(多文化共生社会)】:3件

A:計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
L03	同志社大学	グローバル・リソース・マネジメント	内藤 正典		大学共同利用機関法人人間文化研究機構 総合地球環境学研究所、株式会社三菱総合研究所海外事業研究センター、株式会社堀場製作所、日新電機株式会社技術開発研究所

B:一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
L01	金沢大学	文化資源マネージャー養成プログラム	鏡味 治也		アジア太平洋無形文化遺産研究センター、金沢市、北京大学考古文博学院、チェンマイ大学大学院社会科学部、バンドン工科大学芸術・デザイン学部、ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学部
L02	大阪大学	未来共生イノベーター博士課程プログラム	志水 宏吉		

【複合領域型(安全安心)】:2件

A:計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
M01	東北大学	グローバル安全学トップリーダー養成プログラム	湯上 浩雄		国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、同和ホールディングス、米国地質調査所、スタンフォード大学

B:一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
M02	高知県立大学	災害看護グローバルリーダー養成プログラム	山田 覚	兵庫県立大学、千葉大学、東京医科歯科大学、日本赤十字看護大学	

【複合領域型(横断的テーマ)】:2件

A:計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
N02	早稲田大学	リーディング理工学博士プログラム	朝日 透		モナシュ大学グリーンセンター(豪)、スタンフォード大学エフィシエントエナジーコンバージョンセンター(米)、JX日鉱日石エネルギー(株)、(株)東芝

B:一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
N01	名古屋大学	フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム	田島 宏康		

【オンリーワン型】: 5件

S: 計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
O02	山形大学	フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院	飯塚 博		カリフォルニア大学(ロサンゼルス校・サンタバーバラ校)、ドレスデン工科大学、スタンフォード大学、ボルドー大学、復旦大学、東華大学、ワシントン大学、九州大学、広島大学、パナソニック、三菱化学、帝人、アルケマ、NDソフトウェア、NECパーソナルコンピュータ、トヨタ中央研究所、産業技術総合研究所、BASF、Bosch、French Alternative Energies and Atomic Energy Commission (CEA)、Fraunhofer FEP、Leibnitz Institute 仙台高等専門学校

A: 計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
O03	千葉大学	免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム	中山 俊憲		国立研究開発法人 理化学研究所統合生命医科学研究センター、国立研究開発法人放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター
O05	長崎大学	熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成プログラム	森田 公一		

B: 一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	機関名	プログラム名称	プログラムコーディネーター名	共同実施機関	連携先機関
O01	秋田大学	レアメタル等資源ニューフロンティアリーダー養成プログラム	柴山 敦		東京大学生産技術研究所サステナブル材料国際研究センター、東北大学多元物質科学研究所、国際教養大学、フライベルク工科大学、オタワ大学、タスマニア大学、モンタナテック(アメリカ)、バンドン工科大学、東カザフスタン工科大学、ポツワナ大学
O04	東京大学	数物フロンティア・リーディング大学院	河野 俊丈		